

## フリー系UNIX (1)

ここ数ヶ月間、雑誌にフリー系UNIXの特集が乗らないことがなくなっています。そのうち数誌にはCD-ROMで本体がそのまま付いているものまであります。突然のように注目され始めたフリー系UNIXですが、その実態はどのようなものでしょうか。

UNIXはそもそもWindows NTのように特定の製品を示すものではなく、その実装や種類はいろいろなものが有ります。オリジナルのUNIXはAT&Tのベル研究所で1969年に開発されたものです。そのころAT&Tはコンピュータの売買ができなかったために、開発されたOS(UNIX)は主に教育用や自分たちの作業環境用として使われていました。初めはソースコードを含めての配布が中心であったため、多くの機器への移植や、独自の機能拡張がよく行われていました。中でもカルフォルニア大バークレイ校が中心となったBSDとAT&Tで開発されたSystemVの2つが現在中心となっています。インターネット技術のほとんどがBSDをベースとして開発されたりしていますが、現在は、商用のUNIXとフリー系のUNIXに分類することもできます。

386のCPUが出た当時に、「MINIX」や「XENIX」というパソコンで動くUNIXが出現しましたが、フル機能のUNIXでなかったためにそれほど注目はされませんでした。この中で登場したのが、今もとても人気のある「Linux (リーヌクス)」です。このOSは、ヘルシンキ大学の学部生リーヌス・トーヴァルズが書き起こしたもので、インターネットのサイトにソースコードが登録されることによって、プログラマや利用者が機能拡張やバグフィックスがなされました。また、BSD系のフリーソフトかをはかり誕生したのが「FreeBSD」です。現在ではこの2つがフリー系のPC-UNIXの双壁をなしています。

フリー系のUNIXの特長としてオープンソースが有ります。このソースコードを公開することは、フリーであるからできることで、このことによってソフトウェアの技術、資産を共有することによってより高品質なものを生み出す土壌ともなります。つまり、人に見せるためにソースコードを書くわけですから、コードの品質も上がり間違いも少なくなります。また、もしプログラムに問題があった場合にも、世界中のプログラマが使おうとするわけですから、すぐにその情報はインターネットを通じて公表されることとなります。

ネットワークシステムを構築する場合、その費用のうちソフトウェアの占める割合が大きくなっています。その中で、フリー系のUNIXは基本ソフトウェアの費用を限りなくゼロに近づけることができ、今ではその信頼性も他のものを凌駕するところまでできています。マイクロソフトとしても脅威となってきたのがフリー系のUNIXということが出来ます。特にインターネットサーバでは世界標準といってもいいほどになっています。

(つづく)

(情報誌トピックス)

○日経エレクトロニクス 12月14日号

特集 電源革命

→20年前から変わっていないといわれてきた電源回路が、LSIへの集積化で、小さく薄くなってきている。ICカードに電源を内蔵したり、ACアダプタのノートへの内蔵など製品化されている。

解説 セガ、ゲーム機で情報家電に挑戦状

→セガの発売した「ドリームキャスト」。単なるゲーム機にはとどまらず、通信機能を使ってインターネットを応用した情報家電を視野に入れ、環境展開を図っている。

講座 モニタの本格離陸で2000年まで供給不足

→1997年まで供給過多であった液晶ディスプレイ。1998年には需要と供給が逆転したが、投資水準が低いことから、供給不足はしばらく続く。

○日経パソコン 12月14日/28日号

特集 Windows 98上達の手引き

→多機能になったというWindows 98。もっと便利に使うためのテクニック講座。

特集 1万円からできるパソコン動画編集

→難しそうなパソコンでのビデオ編集。実際はソフト圧縮であれば1万程度の出費で画像の特込みができる。編集も専用ソフトで、つなぎあわせも簡単にできる。

レポート CD-R/RWはこう選ぶ

→低価格になって売れ始めたCD-R(書き込みのみ)/RW(書き換え可能)。使えるようになったCD-R/RWをどう選ぶか。

レポート オンライン決済の本命を探る

→インターネットでオンラインショッピングのできる電子商店や電子モールが増えている。新認証方式で安全性を高めたクレジットカード決済、プリペイドカードを事前に購入する方式、ICカードにマネー情報を書き込んでそのデータを読み込んで使用する方式などがある。

○日経オープンシステム 12月号

特集 モバイルシステム構築法

→社内システムに社外から自由にアクセスして、営業活動などに活用しようとするモバイルシステムを構築するユーザが増えてきている。これまで遅い、高い等の理由で使えなかった無線通信をカバーするツールが充実してきたことが有る。目的に合わせてツールを使い分ける方法は。

特集 活気づく米国アプリケーションサーバ市場

→これまでのC/Sシステムはクライアントにプログラムを常駐させ、サーバはデータベースの管理などに使っていたが、アプリケーションのバージョンアップなどが煩雑で、管理が大変になってきた。そのため、アプリケーションを管理するサーバを持ち、クライアントブラウザを

入れるだけでシステムを構築しようとするのがアプリケーションサーバである。米国では、競争が激化してきているが、日本ではこれからようやく立ち上がろうとしている。

○日経マルチメディア 1月号

特集 ネットビジネス情報源50

→インターネットビジネスに関する情報はインターネットからであったが、情報が氾濫しているため、目指す情報がなかなか探せない。そのための重要な情報源はどこか。

○PCWAVE 1月号

特集 愛機で動くGPS

→パソコンで動くGPS。今ではプラットフォームを選ばず、デスクトップ環境でも使えるようになってきている。その現状と3D地図まで進んだソフト環境。

特集 3Dゲームで眠れない!

→年末年始、ゲームで明け暮れてしまう新作と周辺機器の特集。

○LANTIMES 1月号

特集 PC-UNIXを活用したネットワーク構築

→フリー系のUNIXを利用したシステム構築がいろいろなされている。PC-UNIXの概要と導入方法と活用まで。

特集 ネットワークのトラブル解決法20

→編集部がアンケートで調査したネットワークに関するトラブルの代表的な20を紹介。

○DOS/V magazine 1月1日号

特集 どうなる!?'99年の自作界

→98年もいろいろな新製品が登場したが、99年は、さらに新製品が目白押しになっている。互換CPUとインテルは、Celeronがまたソケットタイプになり競争が激化し、66MHzから100MHzになったベースクロックは133MHzになろうとしている。自作界を含めて目が離せない。

特集 冬、ノートPCをゲットする

→パーソナルコンピュータからパーソナルコミュニケーターに脱皮するノートPC。ノート選びのポイントは、軽・薄・銀!